

## 鴻巣市立馬室小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

#### (1) 人材の確保

学校だより、学校ホームページに募集案内を掲載し、幅広い方々に学校応援団に関わっていただけるよう努めている。コーディネーターについては、現職のコーディネーターに後任の推薦をいただいている。

#### (2) 他団体との連携

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、今年度、他団体との連携は見送った。

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) 登下校の見守り

登下校の見守りはスクールガードリーダーや学校応援団の方が中心となって行っている。昨年度までは月に1回、全教職員が見守り活動を行っていたが、今年度から教職員の見回りはローテーションを組むことにした。見守り活動は1回あたり約20分かかっており、教職員の負担軽減につながった。

#### (2) 米づくり体験の支援

小学校5学年の総合的な学習の時間において、地域の農家の方と応援団の方に米作りのご指導をいただいた。自分たちが育てた米の生長を見て、農業に関心を持つ児童も多くいた。秋に収穫した米は3学期初回の学校給食に出すことができ、全校児童・職員で味わうことができた。

#### (3) 読み聞かせ

感染症対策に配慮した上で、低・中・高学年別にボランティアの方々による「読み聞かせ」を行った(1, 2学期のみ実施)。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

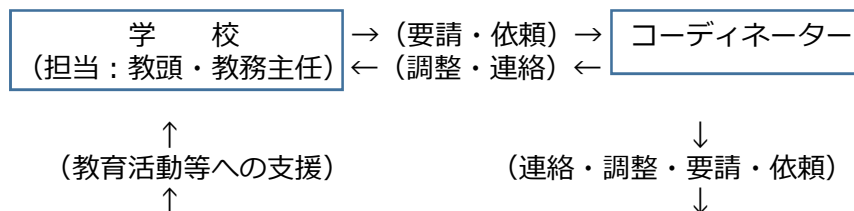
- ・学校の教育活動に対する理解が深まるとともに家庭や地域が一体となった協力体制が整った。地域の人材を活用することで学校だけではできない、特色ある教育活動を展開することができた。
- ・子どもの興味関心がより高まり、知識だけでなく、実践的な態度を養うことができた。

#### (2) 地域の声

- ・学校行事の手伝いをする事で普段家や地域で見せているものとは違った子どもたちの表情が見られることがうれしい。
- ・学校でどんな教育活動が行われているかがわかった。

## 学校基本情報

児童数	299名	学級数	12学級
コーディネーター数 (担い手)	5名 (PTA会長1、PTA顧問1、学校評議員1、馬室地区自治会連合会長1、元PTA関係者1)		



#### 【学校応援団】

- ①安全ボランティア(登下校見守り、あいさつ運動等)
- ②環境整備(学校ファーム活用、お米づくり指導、菊作り指導等)
- ③学習支援(読み聞かせ、ミシシゲ指導、等)
- ④伝統・文化(昔遊び指導、ささら獅子舞指導等)



「馬室っ子田んぼ」で田植え



安全ボランティアの方と下校

## 戸田立美笹中学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

本校の学校応援団の活動は、PTAや美笹地区青少年育成地域の会と連携し、校内環境整備、地域巡回と見守り、あいさつ運動などを行ってきたが、今年度からは学校運営協議会とも連携し、3学年の面接練習補助、書写の授業の補助を実施した。また、校内環境整備については、部会の活動だけでなく、地域からボランティアを募集する形式で幅広い人材の確保に努めている。

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) 除草と花植ボランティア

運動会(9月)前に学校応援団主催の除草ボランティアを、卒業式(3月)前に花植ボランティアの活動を実施している。除草ボランティアでは自宅から草刈り機を持参して体育館裏や校舎裏まで、除草してくれる方もおり、環境整備に役立っている。また、花植ボランティアは花壇を中心に、色とりどりの花を植えることで卒業する生徒の母校でのよい思い出に花を添えている。

#### (2) 朝のあいさつ運動

学校応援団のメンバーを中心に、2・3学期の始まりの期間(それぞれ3日間)に、生徒会や委員会、部活動の代表生徒と朝のあいさつ運動を実施している。それぞれ正門と西門に分かれ、登校してくる生徒とさわやかに挨拶を交わしている。

#### (3) 3学年面接練習補助

今年度から学校運営委員会の委員をお願いして、放課後の面接練習を行った。生徒にとって地域の大人が関わることで緊張感が増し、実のある有意義な時間になっていた。

#### (4) 書写の補助

師範資格を持つ指導者を招聘し、書写の授業の補助をお願いした。複数教室で複数教員による個別指導ができ生徒の技能向上に貢献した。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

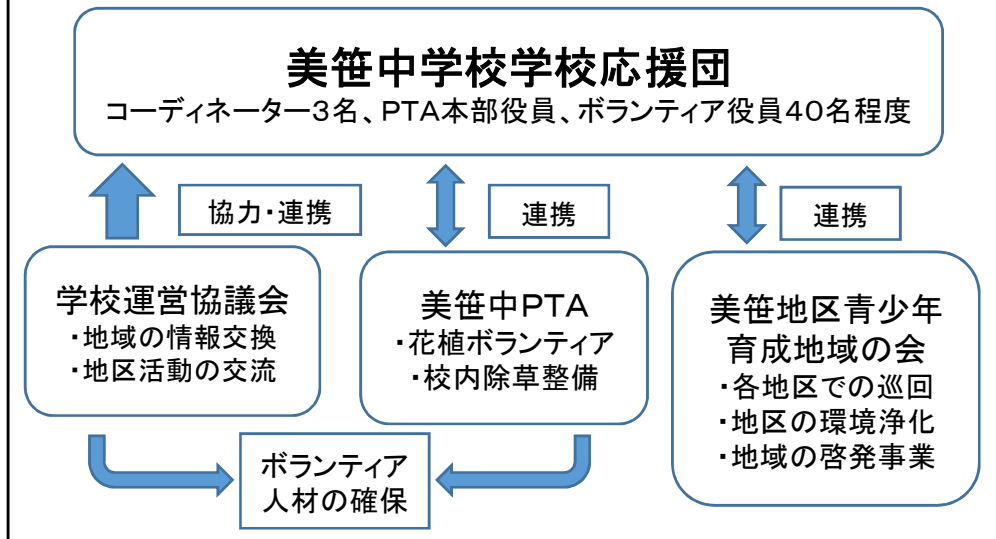
学校応援団の活動を通し、地域、保護者と生徒や教員が交流を深めることで、運動会の前日に雨が降ったときなどに、多くのボランティアの方が協力してくれるなど、地域と学校の風通しがよくなり、関係が一層よくなった。

#### (2) 地域の声

美笹中が母校であるボランティアの方も多く、もっと学校との関係を深め、多方面の活動を通して協力していきたいという声が多かった。

## 学校基本情報

児童(生徒)数	320名	学級数	12学級
コーディネーター数 (担い手)	3名 (元PTA会長1、元PTA副会長2)		



〔ボランティア除草〕



〔3年生面接練習〕

## 和光市立大和中学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

#### (1) 学校運営協議会との連携

学校運営協議会の組織の中に、地域学校協働活動推進コーディネーターを位置づけ、学校応援団の各役割を担うコーディネーターと連絡調整に取り組んでいる。

#### (2) 人材の確保

コーディネーターが中心となり保護者、地域住民に告知し、募集を実施している。卒業生や卒業生の保護者等、積極的な応募があり、学校運営の支援をいただいている。

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) 今年度実施した活動

除草・花壇整備（5月・10月）、読み聞かせ（2学期）、勉強カフェわこう（定期テスト前）、テニスボール穴あけ（4月）、地域防災訓練（11月）、サーキュレーター設置（6月）

#### (2) 今年度実施できなかった活動

新型コロナウイルス感染防止対策のため、飛翔祭の開催、PTAのあいさつ運動が例年のように実施できなかった。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

PTAの美化委員会が実施している「除草・花壇整備」は、それぞれの季節に合致した装飾がなされており、子供たちや教職員の目を楽しませていただいている。

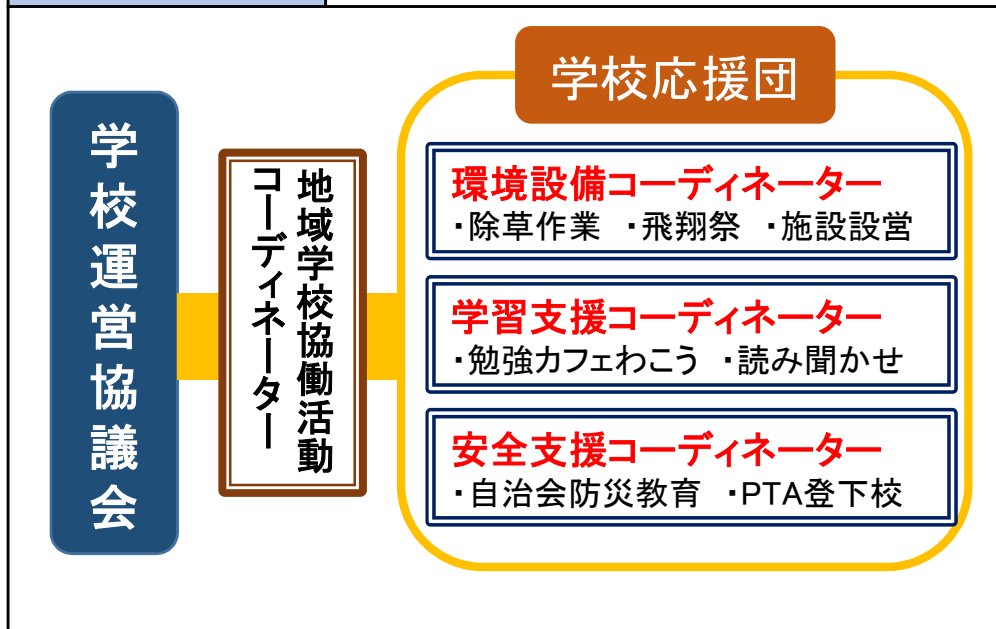
定期テスト前の「勉強カフェわこう」の学習支援は、子供たちの学力向上に役立っている。

#### (2) 地域の声

多様な学校応援団としての活動を推進していく中で、多くの地域の方から「学校のためにもっと何かできないか」という声をいただいている。

## 学校基本情報

児童（生徒）数	776名	学級数	24学級
コーディネーター数 （担い手）	4名（元PTA会長1、おやじの会会長1、学習支援2）		



勉強カフェわこう



飛翔祭



## 新座市立大和田小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

#### (1) コーディネートの工夫

普段から学校応援コーディネーターと教頭・主幹教諭が連携し、2・3ヵ月先単位で事前に日程調整を行っている。この2年間はコロナ禍にあったので、主にPTA会長、PTAのボランティア部とも連携し、活動を工夫してきた。

#### (2) 学校応援団の活動の広報

たよりと合わせて学校ホームページにコーナーを設け、学校応援団の活動について広報している。広報内容は以下の通りである。

- ・年度初めに学校応援団の内容と団員の募集
- ・年2回程、活動の内容報告
- ・学校内掲示

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) 登下校パトロール

登下校の見守り活動をスクールガードリーダーや学校応援団の方が中心に行っている。教職員全体では年間5回の朝の登校指導を行っているが、学校応援団によるパトロールは毎日協力いただいている。朝は40分、下校時は1時間程度行っている。かなりの負担軽減になっている。

#### (2) 農業体験の支援

毎年、学校農園でじゃがいもと大根を栽培し、販売活動を行い、売上金から車イスを購入し、新座市社会福祉協議会に寄付をしている。児童たちの活動の支援として、農業支援員や地域の方の4名が、土づくりや畝づくり、シート張り活動、種まきや収穫の指導なども行っていた。PTAのボランティア部と協力して雑草抜きの作業も行った。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

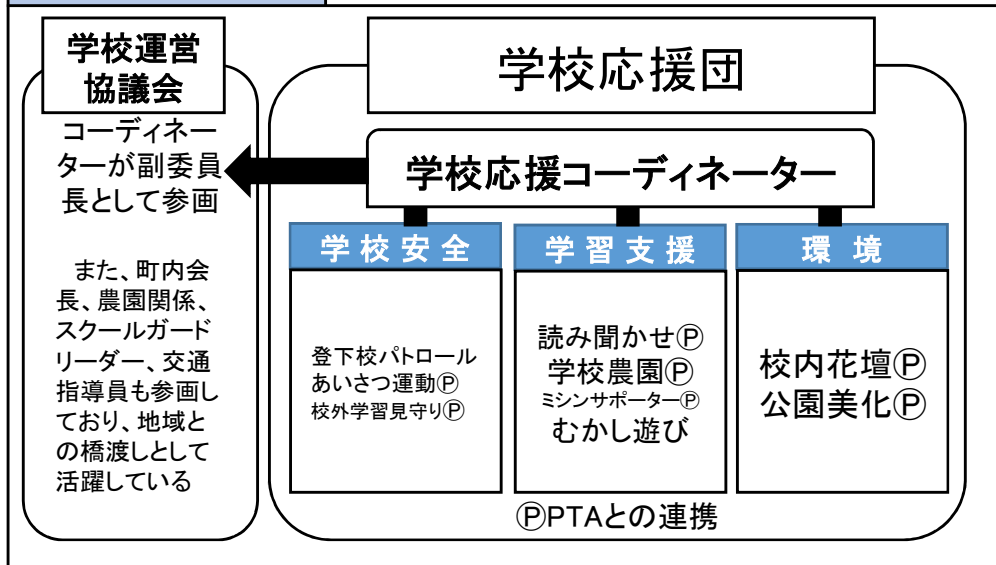
- ・「できる人が、できる事を、できる時に、できる範囲で！」を合い言葉に、日頃から支援をいただいている。
- ・児童の安全と健やかな成長・教育環境の充実を願い、保護者・地域・学校が一体となって活動している。

#### (2) 地域の声

- ・教職員のフットワークが良く、声をあげれば適切に対応しているので協働して活動ができている。
- ・学校農園でとれる大根はとておいしく毎年楽しみにしている。

## 学校基本情報

児童（生徒）数	882名	学級数	27学級
コーディネーター数 （担い手）	1名 （元PTA役員）		



〔登下校パトロール〕



〔農業体験の支援〕

## 桶川市立桶川西小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

#### (1) 連携について

地域の力を積極的に活用し、学校と地域が連携・協働を図りながら学校応援団の活動を通し、子供たちの学びや成長を支えることをねらいとしている。

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) 安心・安全ボランティア

登下校の子供たちの安全を見守っていただいております。地域の防犯推進員を兼ねている方も多くいます。

#### (2) 学習支援ボランティア

毎週水曜日の読書タイムに読み聞かせを行っていただいております。子供たちはとても楽しみにしています。また、図書室の整備にも力を入れてくださり、季節に合わせた掲示物の作成や本の紹介用ポップの作成、本の修理などを行っています。

郷土芸能クラブでは主な活動である「餅つき踊り」の指導をしていただき、地域に伝わる伝統芸能の継承にもご尽力いただきました。

#### (3) 環境整備ボランティア

今年度は、父親活動班による清掃活動が感染症の影響で中止になる中、PTAの環境整備部を中心に最小限の人員で校庭校外の除草作業や樹木の剪定などを実施していただきました。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

- ・安心・安全ボランティアの方々や地域の方々に見守っていただいたことで、児童は安心安全に登下校することができた。また、日頃から児童の様子を見ていただいているので、登下校中の出来事や小さな変化なども伝えていただき、学校だけでは把握できないことにも対応することができ、大変助かっている。

- ・定期的に読み聞かせをしていただくことを児童はとても楽しみにしており、本に触れる機会も増えた。また、図書室の整備や掲示物等の作成で、親しみやすく、使いやすい図書室となっている。

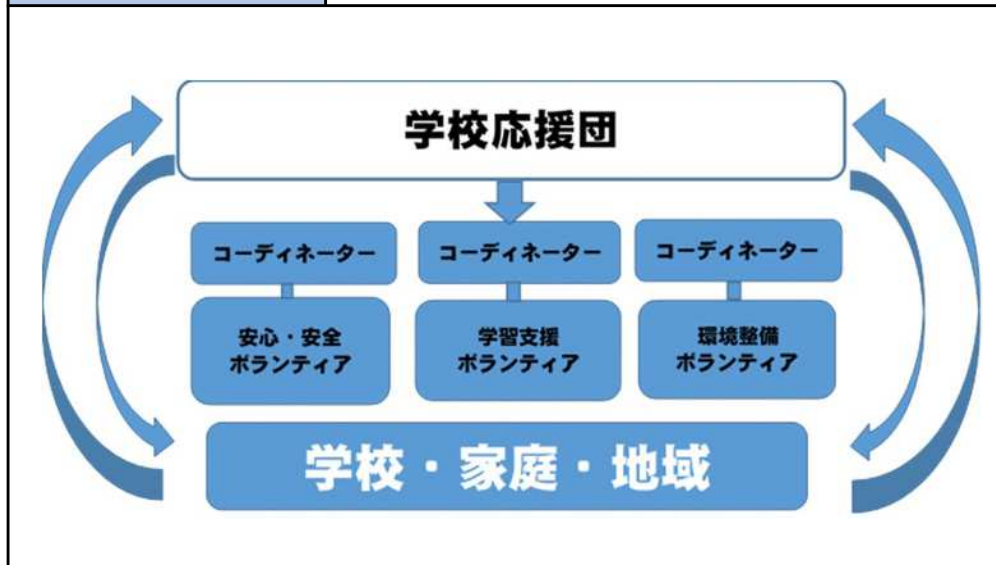
- ・環境整備していただいたので、教育活動のしやすい環境が整った。

#### (2) 地域の声

- ・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたなら、もっと積極的に制限なく活動していきたいとの声が上がっている。元の状況に活動内容を戻していくことが今の大きな課題となっている。

## 学校基本情報

児童（生徒）数	746名	学級数	25学級
コーディネーター数 (担い手)	3名 (PTA会長1、防犯推進委員会1、父親活動班会長1)		



〔登校見守り〕



〔読み聞かせ〕

## 北本市立宮内中学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

#### (1) 包括的な地域連携

現在学校応援団は本校単独での取組となっていることがほとんどであることから、まずは中学校区（該当小学校2校）での連携を検討している。学校運営協議会には中学校区にある小学校校長が委員になっているので、議題として協議し、今後小中連携での取組として行っていく方針である。

#### (2) 後継者を含む人材の確保

現在はPTA会長が学校との調整を行っているが、今後はPTAとは独立したコーディネーターを配置し、継続的に企画・運営の検討を行っていく方向で調整している。また、学校運営協議会で地域人材の確保について幅広く意見をいただいております。今後は授業のゲストティーチャー等に活用していきたいと考えています。

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) 通学路点検の実施

PTAの役員を中心に生徒と協働して実施している。本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となったが、生徒・保護者の目線による危険個所の把握に役立っている。

#### (2) 部活動における外部指導

本校卒業生の保護者に御協力いただき、部活の外部指導を行っていただいている。教員の働き方改革の一環として専門的な技術を教授していただくことで負担軽減になるとともに、生徒の満足度の向上に貢献している。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

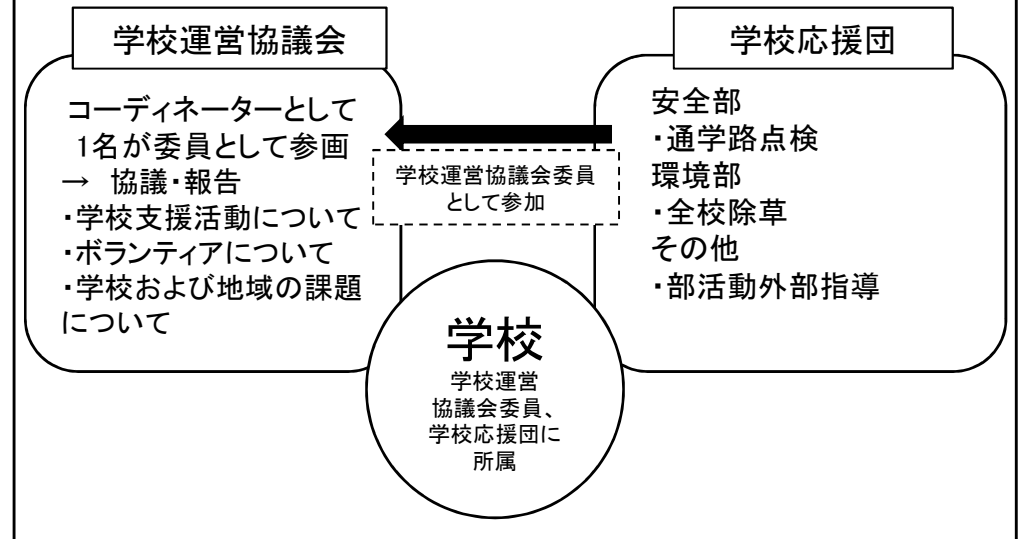
- ・通学路点検や全校除草をとおして生徒の学習環境が改善されている。
- ・専門的な部活動指導を行うことで教職員の負担軽減及び生徒の活動が充実した。

#### (2) 地域の声

- ・「将来に渡り地域に根付いた人材育成」のため、生徒の安全の確保や教育の質の向上についてさらに貢献していきたい。
- ・教職員の負担軽減を含む学校教育の質の向上のため、さらに多角的・多面的に安全面への配慮及び活動の支援を行っていきたい。
- ・将来に渡り支援を持続させるため、卒業生を含む地域の人材を恒久的に活用していきたい。

## 学校基本情報

生徒数	306名	学級数	11学級
コーディネーター数 (担い手)	1名 (PTA会長)		



〔学校運営協議会〕



〔外部指導の様子〕



## 伊奈町立伊奈中学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

- (1) 地域人材の確保・発掘  
年度当初に学校応援団（学校応援ボランティア）募集のチラシを保護者及び地域へ配布し、メンバーを募っている。
- (2) 配信メールアプリの活用  
行事等のお知らせや参加者確認のため、専用の配信メールアプリを活用している。ペーパーレスでの連絡が可能であるとともに、参加の有無をに把握でき、負担軽減につながっている。

### 2 特徴的な活動内容

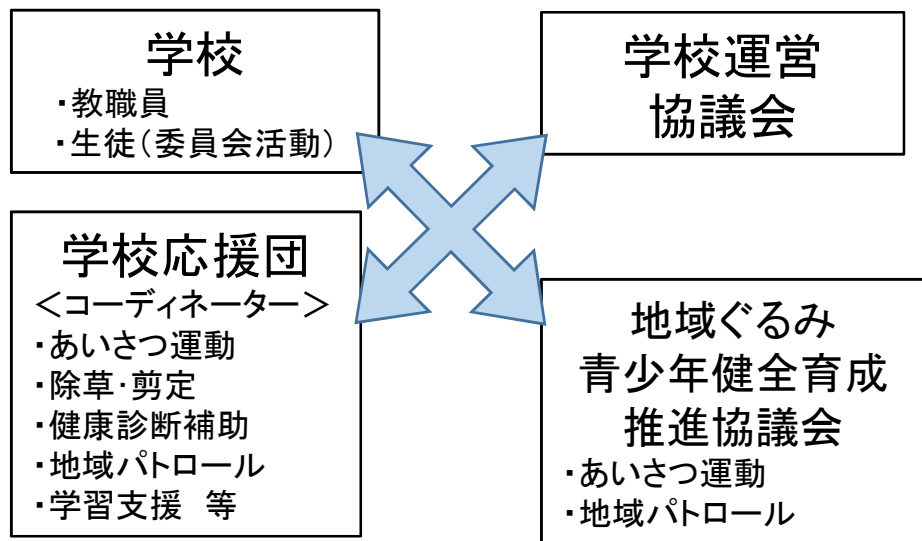
- (1) 毎月第2金曜日の登校時間帯に、地域の青少年育成連合会と共同であいさつ運動を実施している。職場への出勤前に参加してくれる応援団の方もおり、毎回10～15名が参加している。また、秋にはは福祉整美委員会の生徒と落ち葉清掃をしながらあいさつ運動を行っている。
- (2) 1年を通して、手に職のある応援団の方々が除草・剪定活動を行っている。特に日時は指定せず、空いた時間帯に来校し活動をしている。
- (3) 応援団の方々が自由に来校し、活動用具の保管・整備や休憩場所としても活用できるよう校内に学校応援団室を用意し、活動しやすいよう整えている。

### 3 成果と地域の声

- (1) 成果
  - ・今年度から、活動内容を限定せずに「学校応援団」としての募集を行った。そのことにより、配信メールによる活動内容の連絡を受けてから、「これだったら、できそう」という活動に参加をしてくださる方が増えた。
- (2) 地域の声
  - ・ここ数年、コロナ禍で活動が制限されており、授業等での支援活動がほとんど行えない状況であった。感染防止対策をより徹底した上で、生徒たちと直に関わり合える活動が徐々に増えていけると良い。

## 学校基本情報

生徒数	334名	学級数	13学級
コーディネーター数 (担い手)	2名 (学校教育に理解のある地域住民2)		



朝のあいさつ運動



植木・花壇の手入れ

# 学校応援団・西部地区

## 飯能市立富士見小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

#### (1) 年2回の連絡会議

コーディネーターや自治会長、各活動団体の長が一堂に会し、年間の計画や運営の確認等を行っている。今後も長く充実した活動を無理なく続けられるよう、前年度の活動を振り返って運営面の改善を図っている。

#### (2) 学校応援団の新規登録者の確保

登録者の大部分が保護者であるため、仕事をしていて昼間の活動が難しく、児童が卒業すると活動をやめてしまう方も多い。新たな応援団員を募るため、活動の様子を全校の保護者に手紙で配布し、関心をよせてもらえる工夫をした。

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) キャリア教育

6年総合的な学習の時間に、地元OBの自営業者をゲストティーチャーとして招き、キャリア教育を行っている。

児童の身近な地域にある企業・商店の経営者に、仕事の内容紹介だけでなく、「働くことの意義」についても話していただき、進学や将来の職業選択についてじっくりと考える機会となった。

#### (2) 登下校の見守り

毎日、登下校時に交差点、踏み切り等に立ち、交通指導や児童への声かけを行っている。スクールガード・リーダーや各自治体の「見守り隊」の方が中心となって活動している。PTA主体の「事故0(ゼロ)パトロール」とともに児童の登下校の安全を守っている。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

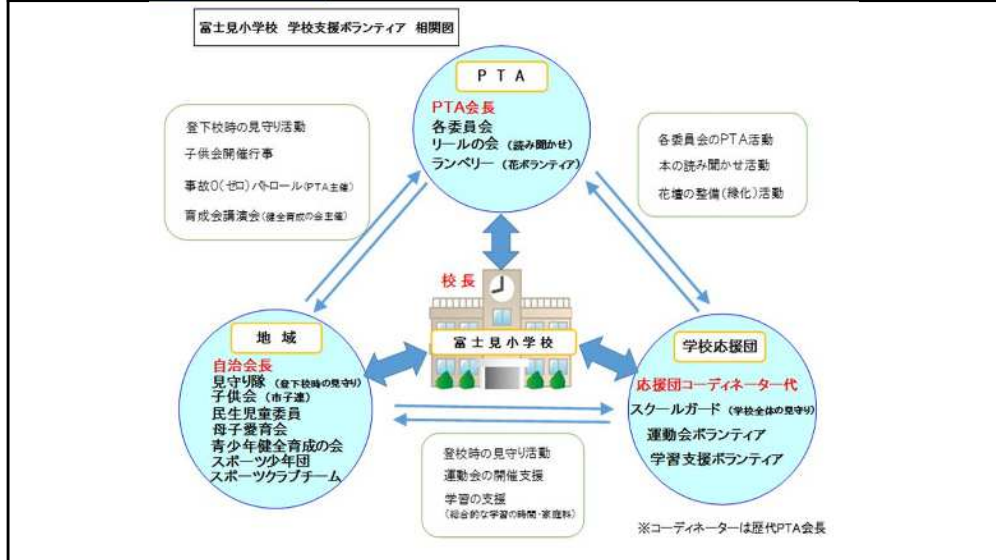
- 実施できた数少ない行事に関しては、地域の人材を存分に生かした充実した内容であるとともに、児童が地域の人と交流を図ることができた。

#### (2) 地域の声

- 新型コロナウイルス対策は継続するが、十分な感染予防策を講じつつ、可能な限り各行事を実施できるよう工夫していきたい。

## 学校基本情報

児童（生徒）数	518名	学級数	19学級
コーディネーター数 (担い手)	15名 (旧PTA会長15)		



〔登下校の見守り〕



〔6年 キャリア教育〕



# 学校応援団・西部地区

## 東松山市立大岡小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

#### (1) 人材の確保

多くの方々に学校応援団に関わっていただくため、学校だよりやホームページを活用して募集している。コーディネーターは、前PTA会長にお願いしている。

#### (2) 地域との連携

生活科や総合的な学習の時間を中心として、地域の施設を訪問したり体験したりして協力を得ている。毎年の活動から課題や反省をもとに次年度の活動へつなげている。

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) 登下校の見守り

スクールガードリーダーや学校応援団、見守り隊の方々がやっている。見守り隊の方々は、毎日の登下校を見てくれている。教職員は、月に1回輪番で登校指導をしている。

#### (2) 地域を学ぶ活動

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」が放映されるにあたり、大岡地区の歴史や文化財等について地域をめぐる遠足を通し学んだ。その際、学校運営協議会で内容を詰め、学校応援団、区長会の協力を得て行った。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

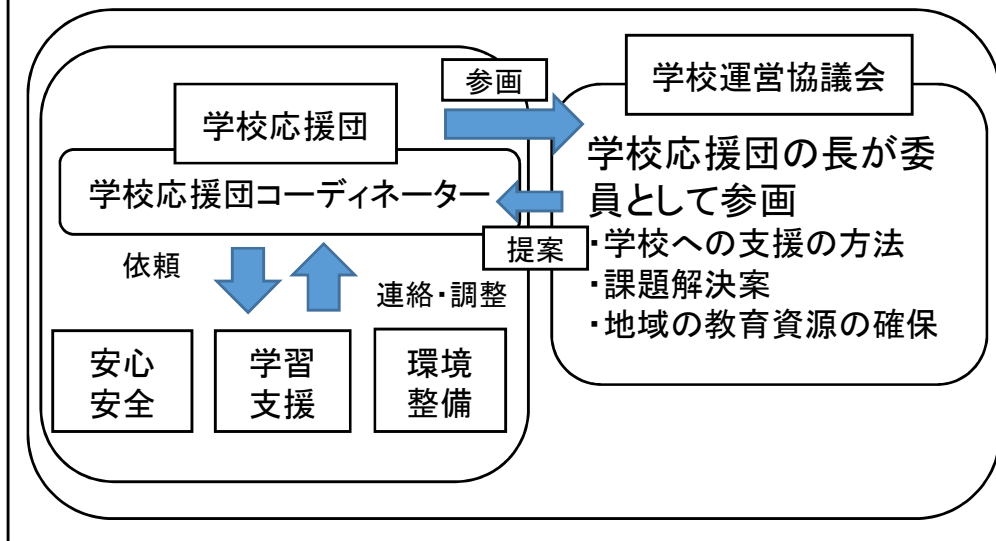
- ・児童が、安全に登下校することができた。また、不測の事態にもすぐに対応してもらうことができた。
- ・自分たちが住んでいる地域を知ることにより、地域への愛着や地域の方々への感謝の気持ちをもつことができた。

#### (2) 地域の声

- ・毎日、子供たちと一緒に歩くことで、健康維持につながっている。子供たちから元気をもらっている。
- ・自分の住んでいる地域を知るよい機会となった。これからも大岡地区に誇りをもって成長して行ってほしい。

## 学校基本情報

児童（生徒）数	79名	学級数	7学級
コーディネーター数 (担い手)	1名 (前PTA会長)		



〔通学見守り〕



〔大岡地区の歴史  
について〕

# 学校応援団・西部地区

## 狭山市立入間川中学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

#### (1) コーディネートの工夫

学校応援団として関わる方の中から1名の方にコーディネーターをお願いしている。実際には活動の内容に合わせて色々な方がリーダーシップをとって活動している。

#### (2) 学校運営協議会との連携

上記のリーダーシップをとってくださる方は学校運営協議会のメンバーでもある。協議会での情報交換がそのままコーディネートの場にもなっている。さらに年3回、小学校と合同での学校運営協議会を開催しているので、アイデアや協力者にも広がりを感じられる。

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) 環境整備

本校は入間川の河川敷に広大な校地を有する。草刈から樹木の剪定まで、その作業量は教職員ではとても追いつかない。各学期に1回、それを応援して下さる「おやじの会」は心強い存在である。学校運営協議会をとおして、自治会や小学校の協議会メンバーにも参加協力をいただいて本当に助かっている。

#### (2) 学習支援

学習支援ボランティア（SSVC）の方々には学力向上に協力いただいている。本校は定期テスト前に学習会をよく開いているが、そこでの個別の生徒支援は生徒にも教員にも有効な時間を生み出す効果が見られる。また、週1回の小テストの丸つけなど、教員の負担軽減につながるサポートをいただいている。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

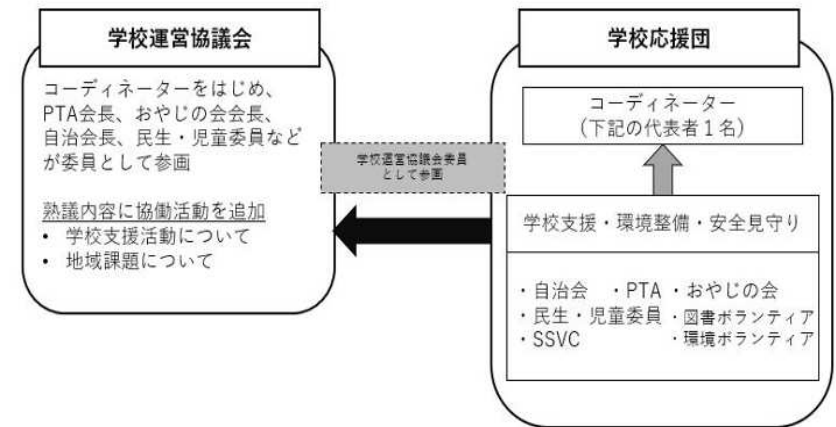
- ・地域の方々は、子供たちが元気であることを心から喜び、そして応援して下さることを学校として実感できる。

#### (2) 地域の声

- ・「子供たちからあいさつをされてうれしかった。」これは私たちも聞いてうれしくなる言葉である。条件の許す限り地域の方々も子供たちとの協働・協同を望んでいる。

## 学校基本情報

生徒数	229名	学級数	6学級
コーディネーター数 (担い手)	1名 (学習支援ボランティア)		



おやじの会・環境整備を終えて



自治会と協働・赤間川清掃

## 富士見市立つるせ台小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

#### (1) 人材の確保

コーディネーターには各地区の町会長などとのつながりが深い方に担っていただいております、保護者以外の幅広い方々に学校応援団に関わっていただいております。

#### (2) 参加者への案内や日程調整の省力化

保護者は入学時に学校連絡メールに登録してもらい、学校応援団への登録をはじめ、実施日のお知らせや参加確認などをICT化している。これにより、参加者の集計や調整にかかる手間の省力化を図っている。

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) 子供たちの学習活動に関わるボランティア

家庭科におけるミシン実習・調理実習や、図工における刃物を使った授業などで作業の補助や支援をしていただく「学習支援ボランティア」、朝の読書の時間にお越しいただく「読み聞かせボランティア」、図書の貸出業務の補助をしていただく「図書支援ボランティア」などがある。

#### (2) 学校周辺の環境や子供たちの安全にかかわるボランティア

下校時の見守りや、夕焼け放送の後に近所の公園などで帰宅を促していただける「みまもり隊ボランティア」、学校内外の花壇や生け垣の手入れをしてくださる「ガーデニングボランティア」などがある。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

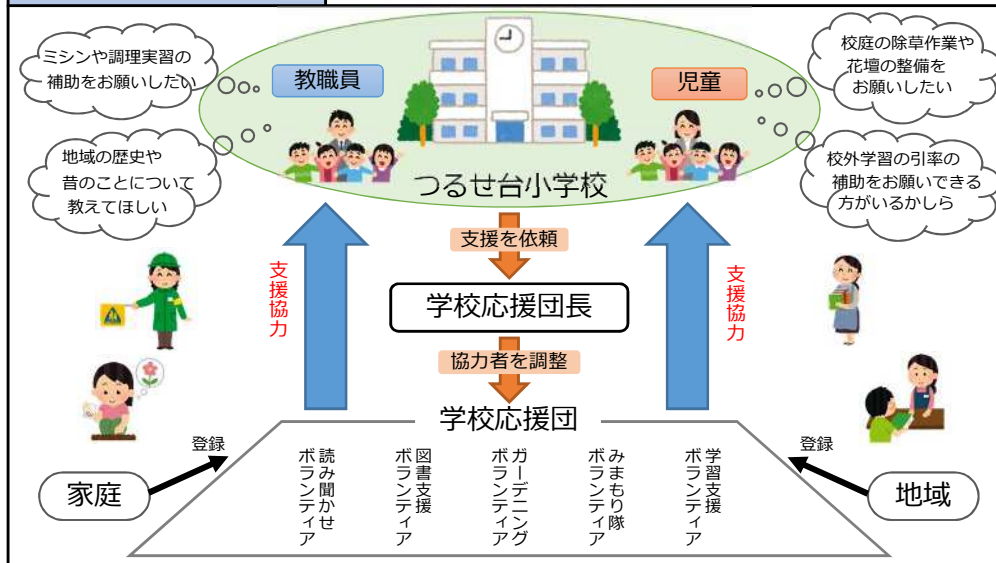
- 先生も子供たちも安心して学習や作業を進めることができる。
- 授業参観だけでなく日頃の授業がオープンになることで、学校への関心が高まる。
- 地域全体で子供を育てている意識が高まる。

#### (2) 地域の声

- 子供たちと触れ合うことで元気がもらえ、生活にメリハリがでた。
- 学校周囲の手入れにより、自分たちの学校をいつまでも美しく保ちたい気持ちとプライドが生まれた。
- 学校が困っているときには何か力になりたいという気持ちになる。

## 学校基本情報

児童数	621名	学級数	22学級
コーディネーター数 (担い手)	1名 (学校運営支援者協議会委員)		



学習支援ボランティア  
(ミシン実習)



ガーデニング  
ボランティア



## 坂戸市立大家小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

#### (1) コミュニティスクールとして推進

今年度より、学校運営協議会を設置し、試行的にコミュニティスクールとして学校運営している。学期に1回、運営協議会を開催し学校の経営方針をもとに、協力を得られている。

(2) 本校は、公民館が学校の隣に隣接されている。その中で、公民館サークルの活動を知り、本校の教育課程に沿うものについて積極的に取り入れ、充実した体験活動につなげている。

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) 米作り体験の支援

小学校5・6年生が総合的な学習の時間において、本校の畑に田んぼを作り、米づくり体験ができるよう支援してもらっている。今年度もコロナの状況が心配だったが、田植え、稲刈り、精米、お米たき、試食まで体験することができた。

#### (2) 公民館サークルとの連携

今年度は、公民館サークルと連携し、習字サークル、墨絵教室の方に来校していただき、直接子供たちに指導してもらった。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

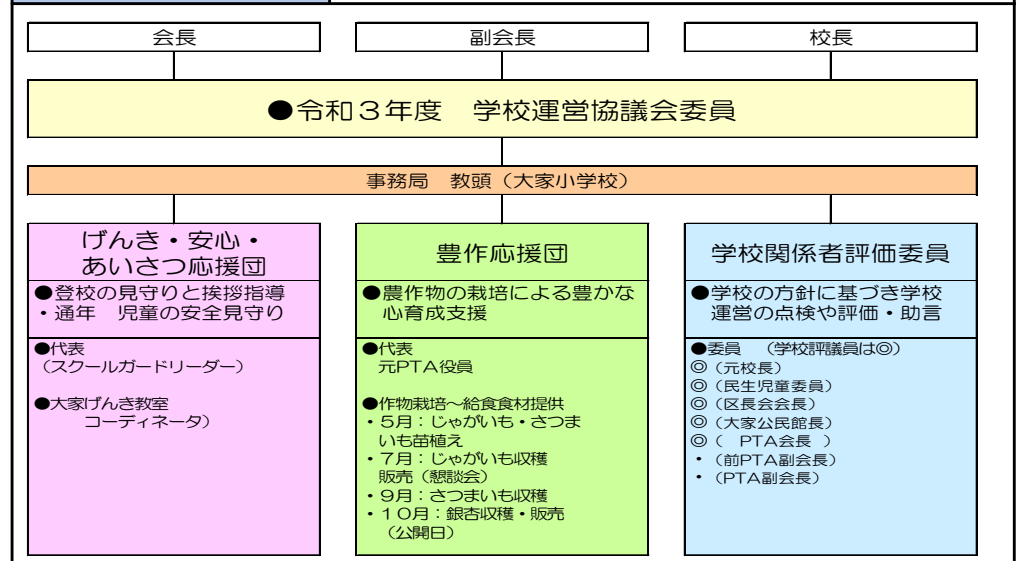
- ・米作り体験を通して、苗からお米ができるまでを体験できたことにより、食への関心と豊かな心の育成につながった。
- ・書き初めの時期に、サークル団体に指導してもらい、具体的なポイントや個別指導をしてもらい、児童の技能向上につながった。

#### (2) 地域の声

- ・児童とのふれあいを通して「活力をもらいました」「また、来年度もきます」との明るい声をもらえた。
- ・田んぼづくりは、もっと若い担い手が増えるとありがたいという言葉があった。今後、コーディネーターを活用し、更なる人材活用を進めていく。

## 学校基本情報

児童（生徒）数	212名	学級数	10学級
コーディネーター数 (担い手)	3名 (PTA会長1、SGリーダー、元PTA役員)		



稲作体験学習



「蛍の会」看板設置

## 鶴ヶ島市立栄小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

多岐にわたる応援をいただくために「学習支援」「環境整備」「安全・防犯」の3つのカテゴリーごとにコーディネーターをお願いしている。

「学習支援」は読み聞かせ・ミシン指導を主な活動としている。「環境整備」は除草・落ち葉はき・側溝掃除等、季節ごとに校庭の内外を整備を主な活動としている。「安全・防犯」は、登下校時の見守りや校外行事の引率支援を主な活動としている。他にも毎年、保護者による立哨指導を安全に実施するため、元警察官の方に指導していただいている。

### 2 特徴的な活動内容

「学習支援」は読み聞かせグループ『チューリップ』さんに、朝の読み聞かせの活動をしていただいている。昨年度より感染防止対策として、読み聞かせの自撮り動画募集を試みた。学校に来て参加するのは時間的に難しいけれど、動画を渡すだけなら協力できるという応援をいただくことができた。

感染症対策の下、ミシンボランティアには多数のご協力をいただいております。5年生の初めてのミシン操作から6年生のミシンの効果的な使い方まで、個に応じた支援をいただくことができ、児童の意欲的な活動につながっている。

「環境整備」においては資源回収や日常的な除草作業に加え、様々なスキルを持つ方に、専門的な技能を生かして協力いただくことで、教育活動の充実につながる環境を整えていただいている。（腐葉土置き場の作成等）

「安全・防犯」は地域防犯について、元警察官の応援団員から犯罪者心理にまで踏み込んだ指導をいただき、安心・安全な地域づくりに取り組んでいる。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

- ・人数が確保できている分野に関して、計画的な取組が可能となった。
- ・児童の意欲と学習成果の向上につながっている。
- ・職員の負担軽減にもつながっている。
- ・児童が地域ぐるみで大人たちに支えられていることを実感し、感謝の気持ちを持つことができる。

#### (2) 地域の声

- ・顔見知りの子供が増え、地域の中であいさつを交わせることが嬉しい。
- ・毎年、活動に参加することが生きがいになっている。

## 学校基本情報

児童（生徒）数	356名	学級数	15学級
コーディネーター数 （担い手）	3名 （元PTA会長・元自治会長・民生委員）		

#### 学校運営協議会

コーディネーター3名が委員として参画

○教育課程と地域連携の可能性を協議

- ・学校支援活動について
- ・ボランティアの確保について
- ・地域の課題について

学校運営協議会議事録の公開を通して協議内容を周知している。

#### 学校応援団

地域学校共同活動推進委員  
（統括的）学校応援コーディネーター

安全部  
コーディネーター

学習部  
コーディネーター

環境部  
コーディネーター

- ・PTA
- ・スクールガードリーダー
- ・自治会
- ・敬老会
- ・警察

- ・読み聞かせグループ
- ・ミシンボランティアグループ
- ・PTA

- ・自治会
- ・地域協力者
- ・PTA
- ・敬老会
- ・支え合い協議会
- ・民生委員



〔読み聞かせ〕



〔腐葉土置き場の作成〕



# 学校応援団・西部地区

## ふじみ野市立さぎの森小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

#### (1) 人材の確保

幅広い方々に学校応援団に関わっていただくため、年度当初に全家庭へ学校応援団の活動を紹介し、募集を呼び掛けている。また、各自治会の回覧板での募集も行っている。学校応援団総会の時に、現職のコーディネーターとの引継ぎを行っている。

#### (2) 活動の紹介

学校応援団だよりや学校ホームページで、学校応援団の活動を全家庭、地域に紹介している。

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) 実施した主な活動（時期）

- ・登下校の見守り活動（通年）
- ・読み聞かせ（通年：緊急事態期間中は除く） ・プール清掃（5月）
- ・親子除草（5月） ・水泳学習の支援（8月）
- ・高学年裁縫学習の支援（10月）
- ・校内音楽会に向けての支援（10月） ・合奏練習の支援（10月）
- ・3年書き初めの支援（11月～1月）
- ・学校花壇の環境整備（6月・11月・1月）
- ・1年外国語学習支援（1月～3月） ・繭玉教室（1月）
- ・6年思い出作り「十二祭」の支援（3月）

#### (2) コロナ禍のため実施を見送った活動

- ・デイキャンプ ・昔遊び体験

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

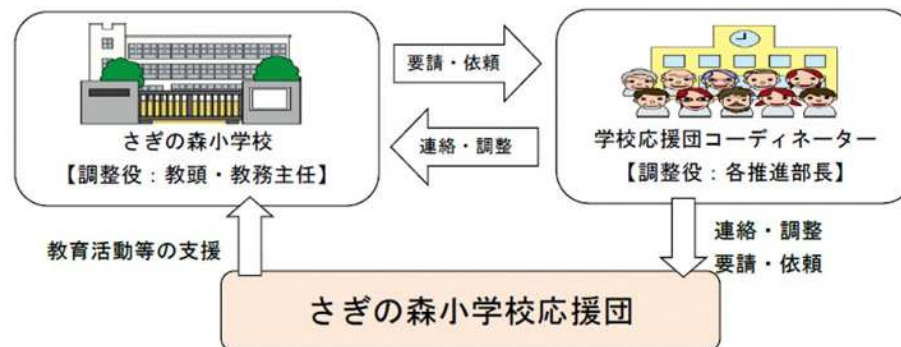
- ・本校出身の地域の方も多くいることから、子供たちのために温かい支援をいただいている。
- ・コロナ禍で制限がある中でも、様々な工夫で充実した活動を行うことができた。

#### (2) 地域の声

- ・さぎの森小の伝統を子供たちに引き継いでもらえてうれしい。
- ・登校時の挨拶活動を続けていて、元気のいい挨拶が聞こえるようになってきている。

## 学校基本情報

児童（生徒）数	413名	学級数	14学級
コーディネーター数 （担い手）	5名 （学校運営協議会委員 PTA役員 保護者）		



学習支援推進部	環境美化推進部	安心安全推進部	地域文化推進部	おやじの会
読み聞かせ 読書活動充実の支援 書写・裁縫・外国語・ 水泳・音楽の学習支援	学校の花壇等の環境 整備 花いっぱいコンクー ルの参加	登下校見守り 集団下校引率補助 通学路の安全点検	繭玉教室 昔遊び体験 地域文化行事の推進	デイキャンプ 除草等の環境整備



プール清掃



合奏練習の支援



## 三芳町立唐沢小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

#### (1) 人材の確保

3月、4月に、保護者に向けて学校応援団募集案内を出す。地域の方々には、学校便り等で応援団への参加を呼びかけている。また、応援団の方々にも知り合いの方を誘っていただけるようお願いしている。合言葉は、「できるときにできる範囲での協力を」であり、無理のない程度に参加できるようにしている。

#### (2) 学校運営協議会との連携

コミュニティースクール発足時より、その一組織として、学校運営協議会と連携をとっている。学校運営協議会で出された意見をコーディネーターが集約し、各応援団活動におろす。また、児童と接することで得られた応援団からの意見も学校運営協議会に反映される。

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) 3つの部、12の活動による教育支援

本校には、学習支援部（読み聞かせ・書写・家庭科・英語・水泳）、環境整備部（唐小林、農園、図書整理、清掃）、安全支援部（登下校見守り、交通安全教室支援、校外学習見守り）の3つの部があり、総勢約50名の方に12の活動で参加していただいております。地域の方々と連携した教育活動を推進している。

また、学習準備や学習後の片付け、教育環境の整備等で支援していただいております。教職員の負担軽減につながっている。

#### (2) 体験的な学習の充実

本校に隣接する雑木林を「唐小林」と呼び、様々な教育活動に活用している。地域の専門家によるフィールドワーク、林での合唱や創作活動、月に一度の唐小林での遊び等行っており、応援団には、児童の見守りや林の整備で協力していただいている。また、学校ファームでは、農家の応援団の方を中心に、畑の整備、栽培補助等で協力していただいている。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

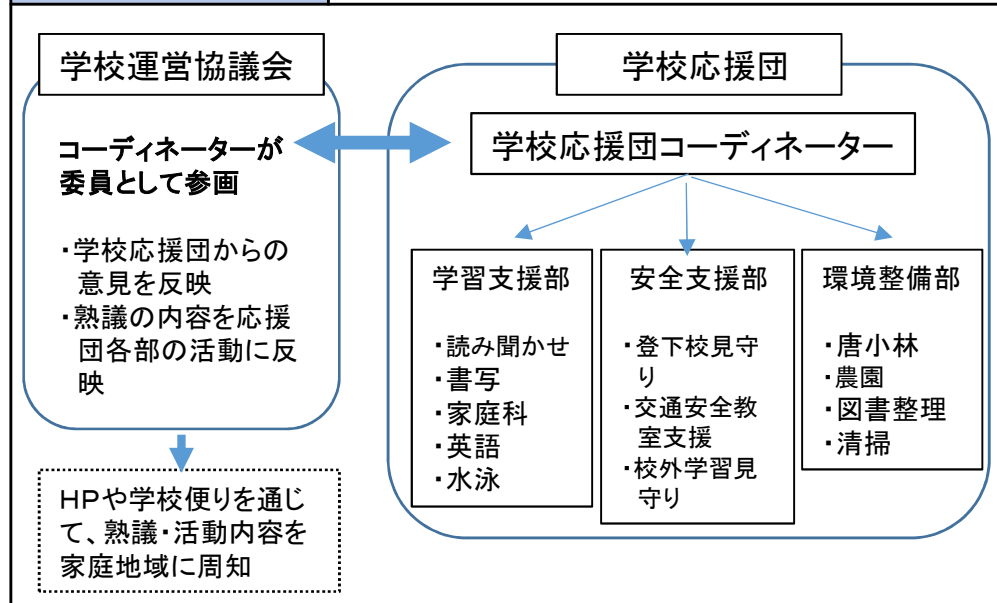
- ・保護者や地域の人々との結びつきが強まり、地域の教育力が向上した。
- ・子どもの多様な経験や体験が充実するようになった。

#### (2) 地域の声

- ・「子どもたちのよさを見つけることができうれしい。」、「子どもの成長が見られた時、参加の意義を感じた。」等、地域ぐるみで子どもたちの教育に携わることに前向きな声が多くあがっている。

## 学校基本情報

児童（生徒）数	432名	学級数	14学級
コーディネーター数 （担い手）	1名 （元PTA会長）		



〔農園部による栽培支援〕



〔環境部による唐小林活動支援〕

## 学校応援団・西部地区

### 毛呂山町立川角中学校の実践

#### 1 充実・発展に向けた取組

- ・学校が積極的に家庭や地域社会にかかわり、安心・安全な学校づくり、生徒の健全育成、学習指導や部活動の充実、環境整備等について学校、家庭や地域社会が一体となってより良い生徒の育成のために取り組む。
- ・学校の活性化、家庭や地域社会の教育力の向上を図る。

#### 2 特徴的な活動内容

##### (1)学習・部活動の支援

- ・社会福祉教育として「手話学習」に地域サークル活動団体を講師として招聘
- ・学習支援として「書道」に地域サークル活動団体を講師として招聘、また、保健指導（妊婦体験等）において講師を招聘
- ・部活動外部指導者＝野球・卓球・バレーボール・サッカー・吹奏楽・陸上
- ・PTAの学校行事への協力＝入学式・体育祭・合唱コンクール・卒業式

##### (2)安心・安全、健全育成の支援

- ・「川角中おやじの会」によるパトロール活動＝年間1回
- ・PTAによるパトロール活動＝本部・総務（年4回）、学年（各学年1回）
- ・防犯パトロール「ゆず」の活動＝学校周辺のパトロール、卒業式のパトロール
- ・サポートチーム連絡会の実施＝年2回実施（6月、2月）
- ・民生・児童委員・主任児童委員との連絡会＝年1回実施（7月）

##### (3)環境整備の支援

- ・PTAによる美化作業＝年3回実施（5月、10月、3月）
- ・おやじの会の環境整備＝植木の伐採、グラウンドの整備（重機の使用）、チェーンソーによる樹木の伐採、枝おろし、草刈り機による大規模な雑草対策を行っている。
- ・PTAによる資源回収＝年2回実施（7月、12月）

#### 3 成果と地域の声

##### (1) 成果

- ・学校応援団が組織的・計画的・継続的に支援活動を展開するようにコーディネーターを中心とした流れが確立してきた。
- ・総合的な学習において、地域の人材を活用し学習を深めることが出来た。地域の方々が学校に入ることで、さらに地域との繋がりが深まった。

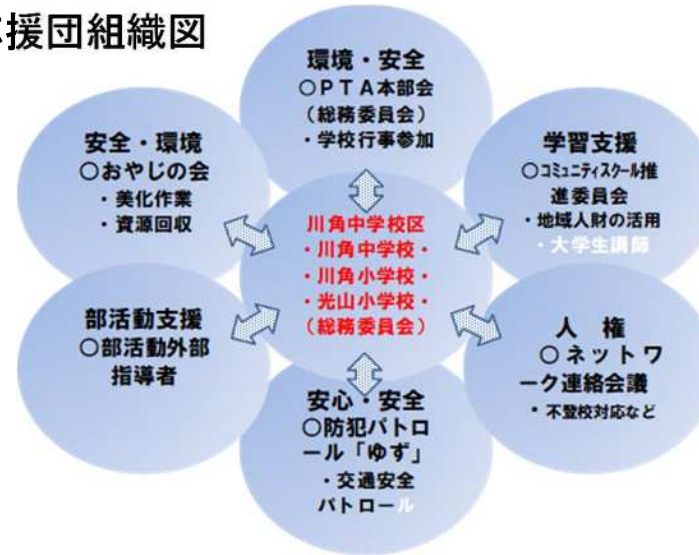
##### (2) 地域の声

- ・「初めての経験で不安もあったが、生徒達の成長に携わることができてうれしい」「色々な制約があるのは理解するが、もっと貢献させて欲しい」

### 学校基本情報

児童（生徒）数	331名	学級数	11学級
コーディネーター数 （担い手）	1名 （応援団コーディネーター：PTA会長）		

#### 学校応援団組織図



「手話学習」



「美化作業」



# 学校応援団（地域学校協働活動）・西部地区

## 川島町の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

- (1) 多様な団体とのネットワーク構築  
地域学校協働本部を設置して、各種団体のネットワークを構築している。
- (2) 旧小学校を活用した居場所づくり  
地域住民の協力を得ることで、廃校になった学校を毎週土曜日に無料開放して、子供から大人まで、だれでも利用できる居場所づくりを実施している。
- (3) 地域住民による多様な取組  
ちいきの学習会、講座、イベント、旧小学校施設の開放を実施している。

### 2 特徴的な活動内容

「埼玉県版地域学校協働活動」は、学校応援団や放課後子供教室、PTA等が緩やかなネットワークを構築して行う多様な取組と位置づけている。（埼玉県『「放課後子供教室」「学校応援団」実践事例集』：2020）  
本町では、令和元年度に地域学校協働本部を設置し、学校（応援団）と地域が連携して、地域総がかりで子供を育てる環境づくりに取り組んでいる。

### 3 成果と地域の声

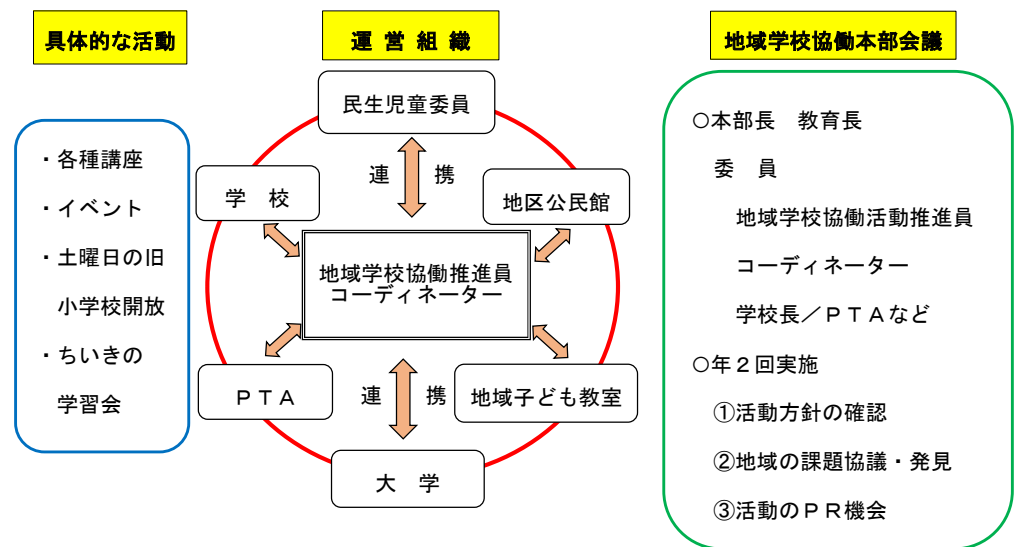
- (1) 成果
  - 実践を通じた人材育成  
地域学校協働活動推進員・コーディネーターが、様々な講座やイベントに参加することで、現在ではスタッフが講座等の企画から運営までができるようになった。今後は、学校教育への支援でも力を発揮すると期待されている。
- (2) 地域（地域学校協働活動推進員・コーディネーター）の声
  - ・だれでも参加できる居場所づくりの成果  
「大人も子供も、集まる場所があるのがすばらしい事だと思う。」  
「家族で楽しんでる姿をみて、一緒に成長を見守っている気持ちです。」
  - ・講座やイベントに取り組む姿勢が主体的(自分事)になりつつある成果・裏付  
「これからもみんなが楽しめることを考えます。」
  - ・地域人材のやりがいの源  
「子供たちの笑い声や笑顔が励みになります。」

## 活動推進体制概念図（対象校：すべての小中学校）

コーディネーター数 推進員2名 コーディネーター28名

概念図 地域学校協働活動（通称：ひろば活動）

【活動の目標】 ①地域全体で子供を育てる仕組みづくり ②地域を「げんき」にするための活動創出



〔みんなの演奏会 川島中学校と連携〕



〔ちいきの学習会〕



## 秩父市立吉田小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

人材の確保

幅広い方々に学校応援団に関わっていただくため、自治会の回覧板で募集案内を周知している。コーディネーターについては、現職のコーディネーターに後任の推薦をしていただいている。

### 2 特徴的な活動内容

ミニ龍勢まつり

龍勢の素晴らしさを児童に味わわせ、龍勢の伝統を未来へ引き継ぐために、学校応援団や龍勢保存会の方々を講師に招き、10月から2月までの長期間、3年生の総合的な学習の時間でミニ龍勢まつりの取組を行っている。

この取組の良さは、奉納者抽選会から龍勢の組み立て打ち上げまで、実際の龍勢祭りと同じような段階を踏みながら児童が体験的に学ぶことである。3年生児童が、2月の発表会を目標に、約5ヶ月間かけて協力し創り上げていく学習である。学習においては児童のアイデアや発想を精一杯大事にし、グループ毎に独自の龍勢の取組を行っていく。講師の方々もただ伝統を継承するためではなく、児童の発想を生かし楽しみながら取り組めるよう工夫して学習を進めている。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

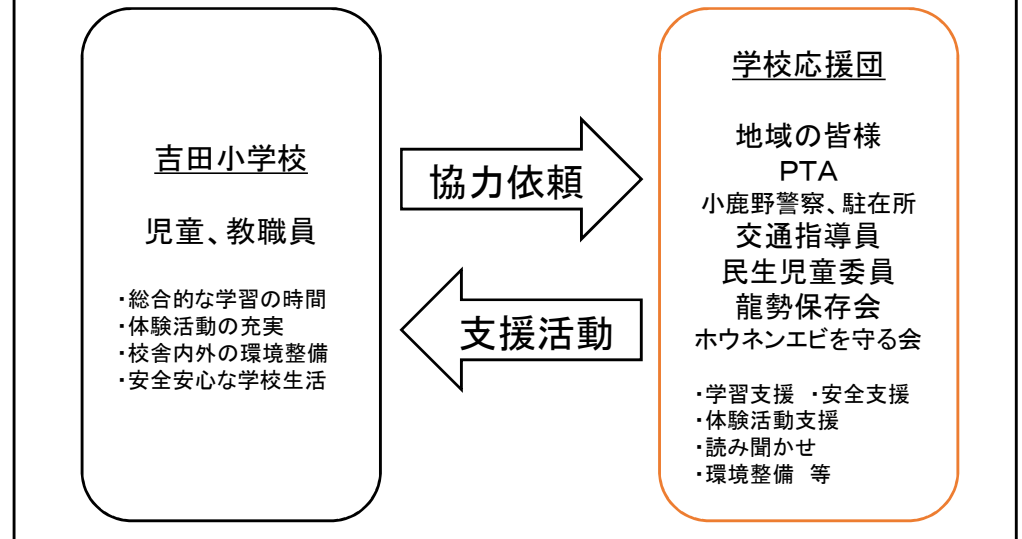
ミニ龍勢まつり発表会では、一人一人が役割を果たし立派に発表する姿が見られる。児童の成長を実感できる取組である。

#### (2) 地域の声

学校応援団や龍勢保存会の方々も、児童とのふれあいを楽しみにしていただいている。地域の温かい支援をいただける取組である。

## 学校基本情報

児童数	173名	学級数	9学級
コーディネーター数 (担い手)	3名 (元PTA関係者2名、地域住民1名)		



〔たが掛け作業の様子〕



〔火薬詰め作業の様子〕

# 学校応援団・北部地区

## 深谷市立岡部西小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

#### (1) 人材の確保

幅広い方々に学校応援団に関わっていただくため、コーディネーターには、地域に顔の利く主任児童委員をお願いしている。また、地域に精通しており、民生児童委員との連携もあることで、連絡が周知しやすく、協力体制にもつながっている。

#### (2) 学校運営協議会との連携

総合的な学習の時間や生活科の学習においては、地元の公民館や農業団体との連携をとることが必要である。伝手として地元有識者の方のネットワークやアイデアを活用することで、スムーズに諸関係者との連携を図りやすいため、必要に応じて話題に挙げている。

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) 登下校の見守り

登下校の見守りは、PTAや学校応援団の方が中心となって行っている。教職員も週末に当番を決めてパトロールを行っているが、毎日実施できないことや学校区が広域のため末端までは見回りできないことから、教師の負担軽減につながっている。

#### (2) そば作り体験の支援

小学校6学年度総合的な学習の時間において、地域の農家の方に支援してもらい、そば作りを行っている。校地内の畑の耕運や栽培・収穫などの指導をしていただき、それを食すまで支援いただき、貴重な体験活動の機会となっている。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

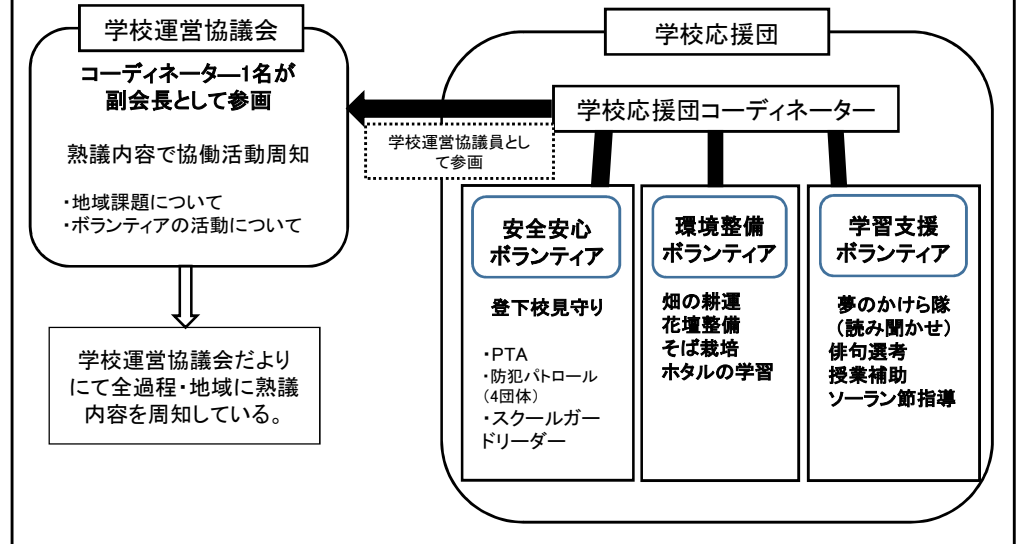
- ・専門的な知識や技術をもっている方々から教えていただけることで、学習内容も充実し、教職員も学ぶことが多い。
- ・地域の方に見守られていることで児童が安心感をもって登下校することができる。また、見知っている地域の方との会話を通して、地域への関心を高める機会となっている。

#### (2) 地域の声

- ・子供たちが真剣に作業に取り組み、生き生きと活動している様子が見られ、とてもよかった。
- ・登下校時の子供たちとの会話を通し、活動（防犯パトロール）への張り合いにつながっている。

## 学校基本情報

児童（生徒）数	257	学級数	11学級
コーディネーター数 (担い手)	1名 (主任児童委員1)		



〔そばの収穫〕



〔登下校の見守り〕



# 学校応援団・北部地区

## 横瀬町立横瀬小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

- (1) 小・中学校の各支援ボランティア名簿の管理、実行委員会や学校応援コーディネーター連絡協議会の運営等を町（教育委員会）が主体となって行っているため、各学校の負担軽減、地域全体で学校応援団事業が推進されている。
- (2) 横瀬小H.P、学校日より、学校運営協議会だよりで広く地域に情報発信し、活動の輪が発展し、内容の充実につながっている。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から制限された活動下で、各支援ボランティアが学校と連携を密にし、児童が「できる体験」を「最大限に充実」できるよう、教育活動の計画とサポートをしている。

### 2 特徴的な活動内容

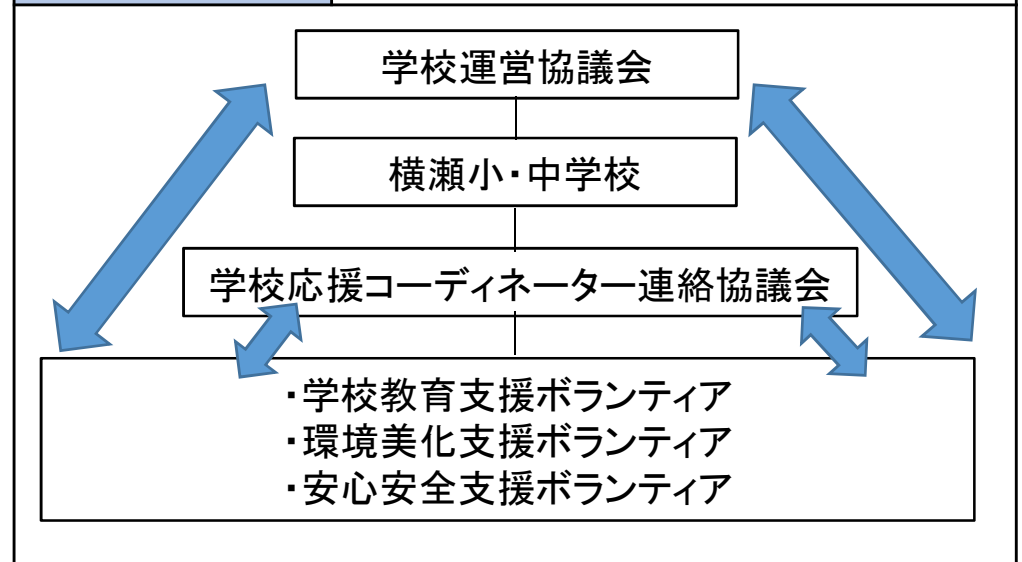
- (1) 小学校5年生の総合的な学習の時間で学校応援団の米作り名人5名が講師となり米作り体験に取り組んでいる。制限された活動下で子供達が安心して体験活動に取り組めるよう、下記のような教育活動を担当教師と連携してサポートをしている。
  - 米作りの方法をICT機器を活用しての説明
  - 制限下で子供達が体験活動として実施できなかった苗植え、網掛け等の応援団による実施
 また、収穫した米を町内の給食調理場と連携し、給食時に町の小・中学校全校児童・生徒でおいしく食べることで食育につなげたり、家庭科の授業での炊飯に活用したりすることで、教科横断的な学習の充実が実現している。
- (2) 栽培委員会の活動で菊作り名人12名が講師となり菊作りに取り組んでいる。育てた菊は町の展覧会に出品している。

### 3 成果と地域の声

- (1) 成果
  - ・子供達は応援団の方々との交流から広く地域に根ざした学習を教科横断的に学ぶことが出来る。応援団の方々の子供達の交流を楽しみ、生き生きと活動してくださっている。地域の教育力向上の視点でも双方向に意義のある活動になっている。
- (2) 地域の声
  - ・「子供達と一緒に活動するたびにパワーをもらっています。これからも自分を含め、もっとたくさんの地域人材を活用してください。」

## 学校基本情報

児童（生徒）数	345名	学級数	17学級
コーディネーター数（担い手）	7名 (公民館職員(1)、主任児童員(2)、社会福祉協議会(1)、教育委員会職員(2)、元PTA役員(1))		



菊の輪台つけ



稲刈り体験学習

## 小鹿野町立長若小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

地域に回覧する学校だよりやPTA広報誌、ホームページ等を活用し、学校の教育活動を積極的に発信している。また、年3回の学校評議員会で学校応援団による活動状況も報告し、次年度の改善に生かしている。

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) 種まきからわら細工までの稲作体験の補助

本校では地域の方の指導のもと、毎年米作りを行っている。5月の種まきから始まり、高学年を中心に全校児童で行い、田植えや稲刈りは高学年が手本となり、低学年にやり方を示し活動している。また、稲刈り後は、収穫感謝祭を行い、指導者の方に感謝の手紙を渡したり、脱穀後のわらを活用して5・6年がしめ縄、リース、わら鉄砲などの「わら細工作り」を行っている。作った作品は、毎年1月に開催している長若地区文化展に出品して、地域の方に披露している。

#### (2) 広範囲にわたる通学区域の登下校の見守り

スクールガードを中心とした登下校の見守り活動を行っている。山間部で人目も少なく、職員のパトロールだけでは安心・安全を維持できない状況となっている。そこで、年度当初に地域・保護者に対してスクールガードの募集を行い、県より委嘱されたスクールガードリーダーを中心として、登下校の見守り、長期休業中の学区内のパトロールを行っている。児童の安全のため、学校近くまで付き添ってくださる方もいて助かっている。スクールガードに限らず、孫の安全のためとして付き添いをしてくださる方もいて地域ぐるみで児童の安全確保を行っている。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

学習場面や登下校の見守り等、地域の方と交流する中で、児童は自分たちが地域と深く関わっていることを実感し、多くの支援を受けていることに感謝の気持ちや郷土を大切に思う気持ちを育むことができた。教師の力だけでは実現できない貴重な体験を児童にさせることができ、学習効果の向上にもつながっている。また、学校と家庭・地域との連携が深まり、地域に根ざした教育活動が展開できている。

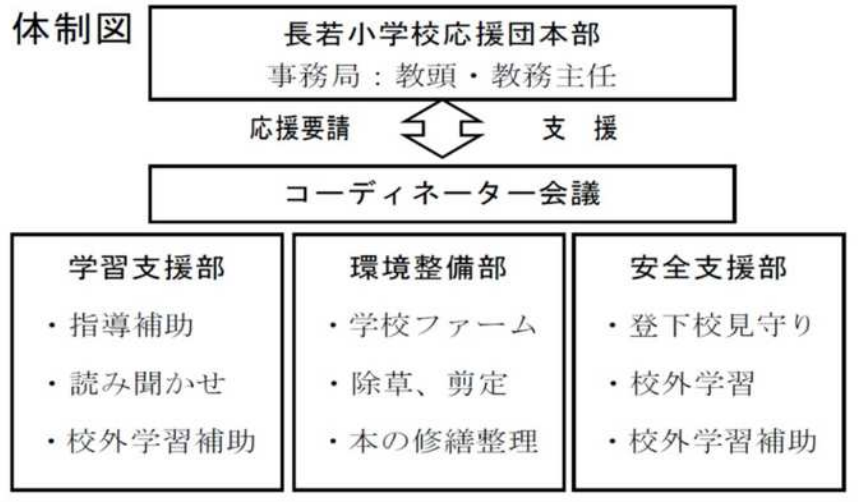
#### (2) 地域の声

- ・子供たちが元気に明るく活動する姿が励みになっています。
- ・学校を知る良い機会になっています。活動を通して、保護者同士の連携も深めることができました。

## 学校基本情報

児童数	51名	学級数	5学級
コーディネーター数 (担い手)	1名 (民生委員・児童委員)		

### 体制図



〔稲刈り〕



〔わら細工〕



# 学校応援団・北部地区

## 上里町立長幡小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

各分野ごとの依頼したい活動内容を明確にし、学校応援団登録の募集を行っているため、地域住民の方が参加しやすくなっている。学校応援団登録の募集内容についての機会を複数設けている。例として、新入学生保護者へ募集案内文書を配布したり、PTA理事会での募集内容等の説明を行ったりしている。すでに学校応援団に登録している方による地域住民等への加入の勧めもあり、毎年新規登録者が数名ずつ増えている。

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) 梨栽培隊

花粉つけ（4月）、摘果作業（5月）、収穫（9月）、枝の剪定（11月）を実施。地元農家の方々による指導を受け、上級生が下級生をサポートする体制が整えられている。梨栽培は長幡小学校の伝統として受け継がれ、今年で22年目を迎えた。

#### (2) 安全見守り隊

毎日の児童の登下校見守り。地域の方々に通学班の集合場所から学校まで一緒に歩いてくれるため、安全に登下校できている。

#### (3) 環境整備隊

マリーゴールド（5月）、サルビア（9月）、パンジー（11月）の花壇整備。校地内の除草、樹木の剪定（8月、1月）、害虫駆除（5月）。年間を通してきれいな花壇になっている。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

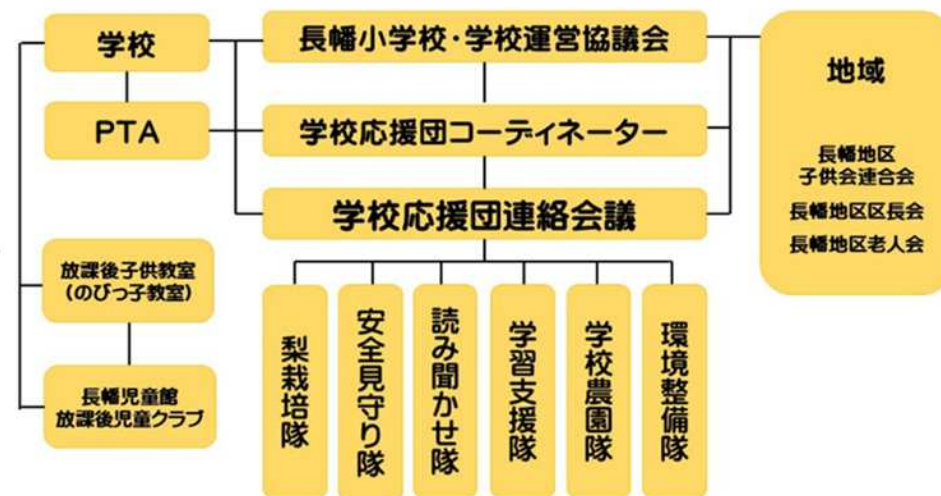
- ・学校応援団連絡会議や各分野の活動を通して、登録ボランティア同士の協力体制の輪が広がっている。
- ・地域の特産品である梨の栽培活動を全校で取り組む中で、異学年の児童の交流が活発になったり、伝統を受け継ぐ意識の向上が図られたりしている。

#### (2) 地域の声

- ・地域の方からは「コロナ禍で学校に行くのを躊躇していたが、学校から声をかけてもらえてうれしかった。」「学校から言ってもらえれば、もっと手伝える」という声もあり、改めて地域に支えられていることを実感した。

## 学校基本情報

児童（生徒）数	208名	学級数	10学級
コーディネーター数 （担い手）	1名 （学校運営協議会関係者）		



〔梨の収穫〕



〔安全見守り隊の活動〕

## 行田市立須加学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

- (1) 組織編制上の工夫
- ・保護者、地域、自治会、公民館等に連絡し、幅広い人材確保に努めている。
- (2) ふれあい推進員の選出
- ・家庭、地域との連携を図る中心として、ふれあい推進長1名、ふれあい推進員2名を選出し、各学習活動、学校行事への協力依頼をスムーズに行えるようにしている。

### 2 特徴的な活動内容

#### ◆活動の内容

- ①見守りボランティア
- ②学習応援
- ③読み聞かせ活動
- ④環境整備
- ⑤昔の遊び

①～⑤の活動において、応援団の方の個性を生かした活動をして頂いている。

### 3 成果と地域の声

- (1) 成果
- ・小規模校のため、教職員だけでは手が足りない環境整備等で御協力頂き、学校が美しい環境になった。
  - ・児童にとって顔なじみのある方々に応援して頂くことで、地域コミュニティの輪が広がった。
- (2) 地域の声
- ・子供たちと活動することで、自分たちも生き生きとしてくる。
  - ・学校の活動に参加することにより、児童の現状や学校の様子がよく分かる。

## 学校基本情報

児童（生徒）数	46名	学級数	5学級
コーディネーター数 (担い手)	3名 (地域住民3名)		

【学校運営協議会】  
地域住民、公民館長、  
自治会連合会長等  
により編成

連携

【学校応援団】  
・学校から募集した地域ボランティアにより編成



#### 【主な活動】

- ①見守りボランティア（登下校時の安全見守り）
- ②学習応援（ふるさと学習での協力）
- ③読み聞かせ活動（読書活動の活性化）
- ④環境整備（校地内の環境整備活動）
- ⑤昔の遊び（昔遊びの伝承）
- ⑥自治会との連携



〔読み聞かせ活動〕



〔環境整備活動〕



# 学校応援団・東部地区

## 久喜市立桜田小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

#### (1) 学校運営協議会との連携

学校運営協議会には学校のことを真剣に考えてくださる方も多く、地域の課題や活動内容について闊達な議論を交わしている。人材確保が課題に挙げられるが、学校運営協議会委員さんからの情報提供や小中学校区での集まりの際に、地域人材について情報交換を行っている。

#### (2) 他団体との連携

「あいさつプロジェクト」として地域に呼びかけ区長会に協力いただきあいさつ運動を地域ぐるみで実施している。

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) 登下校の見守り

登下校の見守りはスクールガードリーダーや学校応援団の方が中心となって行っている。これまでは教職員も見守り活動を行っていたが、見守り活動にかかる時間は、1回あたり約15分かかっており、教職員の負担軽減につながった。

#### (2) 学習支援

ミシン取り扱い補助や、習字の時間の補助等、コロナウイルス感染対策を行いつつも、子供たちの学びを止めることのないよう、可能な限り、地域の方との学習を進めることができた。

#### (3) 環境整備

屋外での学級園、花壇の作業、除草作業等、感染予防に努めながら、環境整備を行っていただいた。子供たちはいつも整然とした環境下で生活を送ることができ、感謝している。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

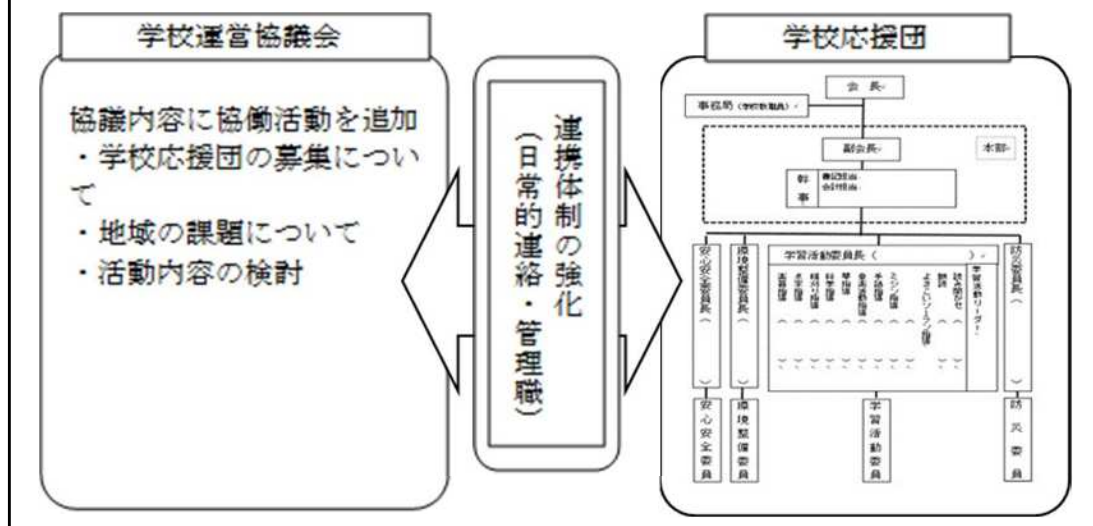
- ・地域の方からボランティア再開の確認を進んで連絡していただき、地域の方々の学校教育に対する意識の高さを感じることができた。

#### (2) 地域の声

- ・本校児童が地域の方に声かけをしてくれてありがたかった。
- ・子どもたちの見守りをしていただき大変ありがたい。

## 学校基本情報

児童（生徒）数	860名	学級数	29学級
コーディネーター数 (担い手)	4名 (現PTA役員1名、ボランティアリーダー3名)		



【朝の登校見守り】



【図書ボランティア】

## 三郷市立桜小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

- (1) 人材確保  
幅広い方々に学校応援団に関わっていただくため、たよりやホームページで募集案内を周知し、人材確保に努めている。
- (2) 学校応援団の活動の広報  
学校だよりやホームページを通して、学校応援団の活動を児童・保護者・地域へ広報し、活動のさらなる充実を目指している。

### 2 特徴的な活動内容

- (1) 登下校の見守り  
スクールガードリーダーや学校応援団の方が中心となり、毎日、児童の登下校の見守りを行っている。児童と挨拶を交わしたり、交通安全についての注意喚起の声掛けを行ったりしている。
- (2) 読み聞かせ・読書環境整備  
2つのボランティアグループが活動し、それぞれ月4回の読み聞かせを行っている。児童は、毎回読み聞かせを大変楽しみにしている。月2回の読書環境整備は一回あたり1時間程度の活動である。児童の読書意欲を喚起する図書館整備や環境づくりがなされている。教職員の負担軽減にもつながった。
- (3) 体験学習支援  
生活科の校外学習では、児童が安全に活動できるよう引率の補助を行っている。家庭科のミシン学習では、全員がミシンの使い方を習得できるよう学習支援にあっている。体験学習を中心に学習支援を行っている。

### 3 成果と地域の声

- (1) 成果
  - ・コロナ禍の取組であっても、感染症対策を講じた上で、コーディネーターを中心にできる活動を考えていただき、学校が地域に支えられていることを改めて実感した。
- (2) 地域の声
  - ・活動を通して、「子供達から元気をもらえて励みになる」「桜小の子供達が好き」との声をいただいている。

## 学校基本情報

児童（生徒）数	258名	学級数	11学級
コーディネーター数 （担い手）	1名 （主任児童委員）		



〔図書ボランティアによる読み聞かせ〕 〔おやじの会による万国旗の取付作業〕



# 学校応援団・東部地区

## 蓮田市立黒浜南小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

#### (1) 学校・保護者・地域のふれあい交流活動

子どもたちへの学習支援活動をはじめ、運動会、みのりの秋集会等の各種行事、また、PTA主催の黒南小バザー、親子除草活動等に参加することをおして、学校・保護者・地域の交流を深めている。

#### (2) 定例会議の設定

ふれあい推進長会議・学校応援団会議を年3回、自然に集まろう会を年9回実施し、各種活動に計画的に取り組めるようにしている。

### 2 特徴的な活動内容

#### (1) 体験活動への支援

田植え、稲刈り、じゃがいも掘り、火おこし、凧作り、昔遊び等をはじめとする様々な体験活動にご支援いただいている。中には、担任自身が体験していない活動もあり、各活動の担当者と事前に打ち合わせを行うことで、当日までの準備や当日の支援の面で大きな負担軽減につながっている。

#### (2) 安全・安心な環境づくりへの支援

教職員や保護者が行っている樹木の剪定や除草活動等で、作業が不十分な際には、別に時間を割いて作業を行っていただいている。作業時間を確保するのが難しい中、応援団の方々の支援は、なくてはならないものになってきている。

### 3 成果と地域の声

#### (1) 成果

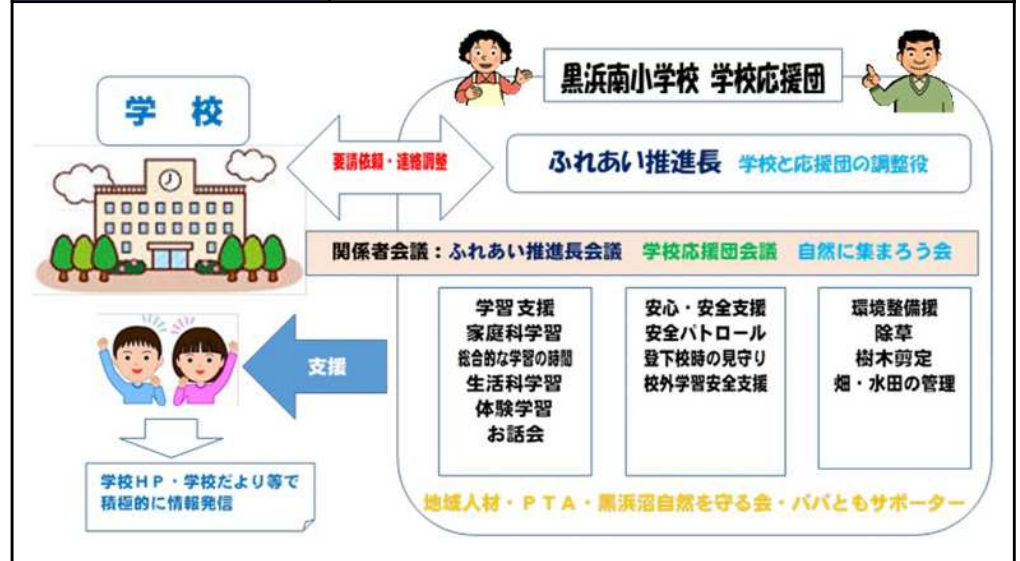
- ・様々な体験活動により、子供たちに豊かな心が育まれている。
- ・学校行事やPTA活動にもご支援いただくことで、学校・保護者・地域の連携が強化されている。
- ・学習準備や環境整備の面で、教職員の負担軽減につながっている。

#### (2) 地域の声

- ・学校の様子がよくわかり、来校するのが楽しみだ。
- ・学校応援団員の人数をさらに増やしていきたい。

## 学校基本情報

児童（生徒）数	277名	学級数	13学級
コーディネーター数 (担い手)	7名 (ふれあい推進長)		



〔田植え〕



〔火おこし体験〕

## 宮代町立須賀小学校の実践

### 1 充実・発展に向けた取組

- (1) 地域人材の確保  
学校応援団の取組や募集内容を学校だよりや学校ホームページ、地域回覧文書に掲載して周知することで地域・保護者の協力が得られるようにしている。
- (2) 他団体との連携  
5年生の総合的な学習の時間において、「新しい村」や地域のサポーターの協力を得て「田んぼの学校」と称した田植え・稲刈りなどの体験学習と米作りのついでに学習を毎年行っている。

### 2 特徴的な活動内容

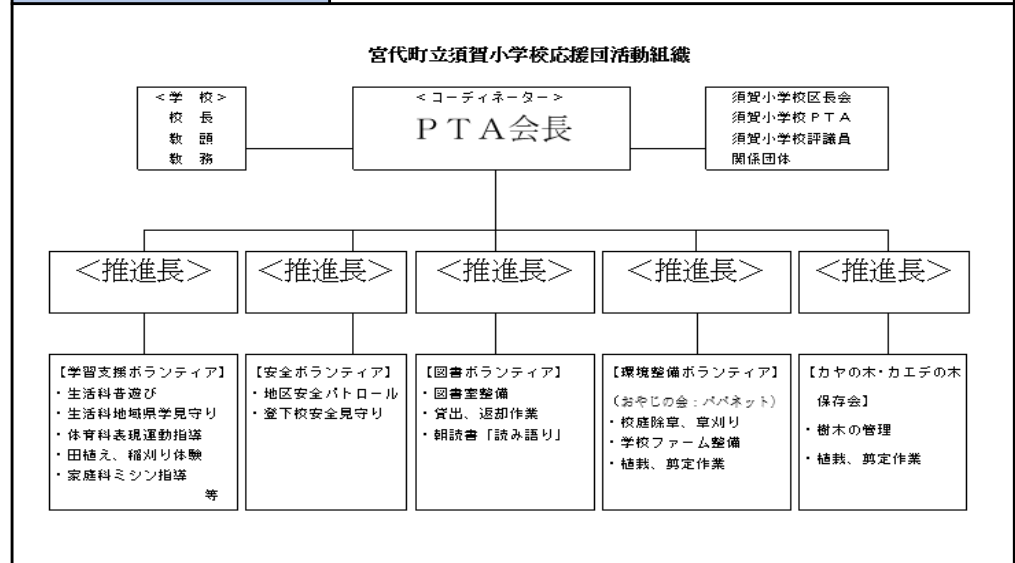
- (1) 登下校の見守り  
登下校の見守りについては、スクールガードリーダーを中心に地域と保護者の協力による登下校安全パトロールボランティアの方々（125名）が行っている。これにより、教職員の見守り活動が減り、負担軽減につながっている。
- (2) 校内の環境整備  
草刈り、学校ファーム整備を、環境整備ボランティアやパパネットに協力をいただき、行っている。また、地域で校内のシンボルである榎の木と楓の木を保存する「榎の木保存会」という団体があり、樹木整備を積極的に行っている。このことにより、大幅に教職員の負担軽減につながっている。
- (3) 学校応援団との連携の強化  
応援団連絡会（年2回）を実施し、各ボランティア代表者の顔合わせや活動計画等について情報交換している。また、本校児童から、日頃、お世話になっている学校応援団の方々を感謝集会に招待し、感謝の気持ちを伝える取組を行っている。

### 3 成果と地域の声

- (1) 成果
  - ・地域の方の御協力により、子供たちの指導に、より専門的な知識・技能を導入することができ、教職員の負担を軽減することができた。
  - ・環境に潤い、地域の方とのふれあいが増え、子供たちが学校以外でも地域の方と挨拶を交わすようになった。
- (2) 地域の声
  - ・学校応援団の取組を通じて、「学校が元気になるとともに、地域や家庭のボランティアの方々も元気になる」という声が聞かれた。

## 学校基本情報

児童（生徒）数	310名	学級数	14学級
コーディネーター数（担い手）	1名 (PTA会長)		



〔田植え 5年〕



〔登下校の見守り〕